



本校のグラントデザインに示す2つのミッションのうちの1つがこちら↓

Mission2

「秦野支援学校は 児童生徒を地域のフロントへ

送り出します」

グラントデザインは今年で4年計画の3年目になります。「地域のフロントへ」と、この2年間様々な活動を積み重ねてきました。地域資源を活かした校外での学び、小・中学校との交流、店舗やイベントでの作品展示や学校の取組の発信、公共スペースをお借りしての販売など、少しずつ活動の幅を広げています。そして4年計画の後半はさらなる充実を目指していきます。

「地域の中で学ぶから踏み込み、地域に対して何ができるか、子ども達の「楽しい」や「がんばり」を共有して一緒に元気になれることはないか、そんなことを目指して、もっとアクション、チャレンジをしていきたいと考えます。

そのためには、保護者の方や地域のお力がとても大切です。様々な情報やコラボ企画のアイデア等をいただきながら、子ども達が地域のフロントにとびだすためのあれこれと一緒に考えていけたらありがたいです！

○ 7月16日～22日 は本町公民館で秦野支援学校の作品展示を行っています。是非お立ちよりください。

(副校長 松本)

今年度のいぶき会夏祭りは7月18日(土)を予定しています！ステージ発表をメインに、各事業所の物販も予定しています。昨年度はフラダンスやよさこい、職員バンドがありましたが、今年度はどんなお祭りになるかな♪みなさんが素敵な時間を過ごせるよう、いぶき会役員と教員を中心に準備を進めています！お楽しみに★



この学校だよりを出す頃には梅雨が明けているでしょうか。日本には梅雨を表す季語がたくさんありますね。走り梅雨・戻り梅雨・梅雨の闇・梅雨夕焼け・梅雨かび・・・日本人にとって「梅雨」とは格別な情感を引き起こすと共に、きっと生活上の大問題の一つだったのだと想像されます。

秦野支援学校でも、バスの運行においては、この気候は時に大問題になります。雨の日は送迎の車も増えて道路が混雑します。保護者の方々は雨の中大変な思いをされながら送迎してくださっていると思います。

雨だけでなく、事故による交通渋滞等の時などに、少しでも「バスは今どこ？」と保護者の皆様が見通しがたつように、バスの位置情報を知らせる「知らせるバス」をようやく導入することができました。渋滞を解消することはできなくても、見通しの立たない待ち時間のストレスが少しでも和らぐことを願っています。使い勝手はいかがでしょうか？ご不明点、ご意見がありましたら学校へお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。



(マネジメントグループ)

B 課程【病弱教育部門】

B 課程では、「みどりやファーム」でいちご狩り体験をしました。

7病棟の児童生徒は雨のため現地に行くことはできませんでしたが、いちごをいただき、病院内でいちご狩り体験をすることができました。8病棟の児童生徒は現地へ行っていちご狩りやヤギの餌やりを体験しました。

いちごの甘いかおりを嗅いで笑顔になったり、口をもぐもぐと動かしたり、とても素敵な体験をすることができました。



C 課程【病弱教育部門かもめ学級】

神奈川県リハビリテーション病院内の院内学級です。一人ひとりの課題に応じて日々の学習を進めています。小集団でレクリエーション活動としてカードゲームやチーム対抗的あてゲームをしたり、中学生が主体となって病棟行事の発表内容を計画したりしています。

5月には、小中学生合同で宮ヶ瀬ダムへ遠足に行き、広場でフリスビーやシャボン玉を楽しみました。



D 弘済【知的障害教育部門】

作業専修グループが落合校舎へスクーリングに行き、E 中学部のみなさんと交流しました。ダンス（マイムマイム）やボール運びリレー、サッカーと一緒に楽しみ、最後には「またやろうね」と手紙で気持ちを伝え合う、素敵な活動となりました。

今後は基礎クラスでもスクーリングを予定しています。毎日の学習の成果を発揮できるよう、一日一日を大切に取組んでいきます。



E 中学部【知的障害教育部門】

7月2日、強い雨の中、スクールバスに乗り中学部全員で鈴鹿かまぼこ博物館に遠足に行ってきました。かまぼこ博物館では、揚げかまぼこ作りを行いました。それぞれ、好きな形にしたり具材を入れたりして作りました。できあがった物を見て「おいしそう」等の声もありました。かまぼこ完成後は、みんなでお弁当を食べて博物館見学後、学校へ戻りました。

E 高等部【知的障害教育部門】

6月の実習期間では、校内実習と現場実習に取り組みました。校内実習では、働く上で必要な力を学び、実践につなげました。現場実習では、企業や事業所、福祉施設での実習を通し、将来の進路につながる貴重な経験を積むことができました。今後は、実習での学びや経験を活かし、卒業後の進路に向けてさらに力を伸ばしていきます。



F 末広【知的障害教育部門小学部】

中学部が落合校舎に移転したため、F 末広校舎は小学部だけとなりました。保健室や、多目的室、応接室などのスペースを確保し、より安全に使用できるようになりました。また、児童の皆が毎日使っているプレイルームには、楽しい遊具が増え、ますます楽しくて皆が大好きな場所にバージョンアップしました。



G 部門【肢体不自由教育部門】

G部門には、修学旅行、遠足、校外学習など校外に出発する際は、学部の人みなで見送る慣習があります。今年の高等部の修学旅行前には、小学部の児童がUSJや水族館の切り抜きを貼り、中学部の生徒が新幹線などのイラストを描いた模造紙を風船で飾り、高等部の教室に突撃訪問してにぎやかに見送りました。送る側も送られる側も温かい気持ちになる素敵な時間です。

